

鬼縁展

私の出会った鬼の作家

三日月電波

「鬼娶の脱ひしき十字固め」

大江山百鬼組

インフィエルノ・

アスール

エガネ・

ノーバル

壺式玖堂

鶴島朴同

ミズ鬼ずム

宮本源内

日本の鬼の交流博物館

〒620-0321 京都府福知山市大江町勝性寺909 TEL&FAX: 0773-56-1996

開館時間 / 午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
休館日 / 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日
入館料 / 大人 330円 / 高校生 220円 / 小中学生 160円
※団体割引あり

交通アクセス
○京阪神自動車道(舞鶴大津IC)より約35分
○京阪内線(舞鶴大津駅)下車、徒歩約10分
○京阪内線(舞鶴大津駅)下車、市バス(舞鶴大津線)より約10分
○地域交通サービス「舞鶴大津」より約10分(舞鶴大津駅、舞鶴大津駅前、舞鶴大津駅前バス停)
予約ダイヤル: 0773-33-5533

2026
7.28^[火] 9.6^[日]

※8月10日(月)、12日(水)は開館します

【入館料】
大人 330円
高校生 220円
小中学生 160円





今回の夏季特別展はデジタルを用いて日本古来の雰囲気ある画風で鬼や妖怪の伝承を描く妖怪
 絵師・三日月電波氏による「鬼縁展」。三日月氏が描く伝承からイメージする鬼や妖怪作品のほか、
 鬼を通じて三日月氏がこれまでに会った作家たちの作品も同時に展示します。
 「鬼縁」の文字通り、「鬼との出会い」「人との出会い」を感じていただくとともに、来館され
 る皆様にもそのご縁に加わっていただけるような特別展です。

三日月電波氏 プロフィール

1974年生まれ。デジタルを用いて伝承からイメージされる鬼や妖怪をオリジナルの姿で描く妖怪絵師。仁科展やパリ国際公募展のほか、数々のコンテストで受賞歴を持つ。2012年には日本の鬼の交流博物館にて夏季特別展「妖（あやかし）の園—三日月電波展—」を開催。2017年、妖怪愛好団体「ミズ鬼ずム」に加入。プロレスラーとしても活躍中。

三日月電波氏 コメント

私の人生で、出逢った鬼才達をとくと御覧あれ〜!!
 「鬼縁展」は、鬼をテーマにした作品を展示するだけの展覧会ではありません。
 この展示は、主催である三日月電波が各地で出会った鬼の作家との「縁」をたどり、その出会いから生まれた作品や物語を来場者に体験していただく企画展です。

会場では、作家との出会った順に作品を配置し、エッセイ漫画や解説を交えながら、それぞれの創作に込められた想いや背景を紹介します。
 来場者には、作品だけでなく、その作品が生まれた人とのつながりや物語を感じてもらい、「鬼」を通して人と人が結ばれていく温かさや創作の魅力を体験していただくことを目的としています。
 「作品を並べる展示ではなく、鬼との出会いの物語を歩く展示」
 どの様なものか、御自身の目で確かめて下さい。

大江山百鬼組

京都府福知山市大江町で伝説の鬼・酒呑童子を主役に町おこしに取り組む団体。2025年に福知山市在住の20~40代の若手を中心に結成され、鬼に扮して大江の鬼伝説をPRしている。



壹式玖堂

3年前より百鬼夜行絵巻の妖怪ぬいぐるみを製作する「百鬼夜行ぬいぐるみプロジェクト」に取組む。怖いと可愛いの実真中を目指して製作中。あと半分!



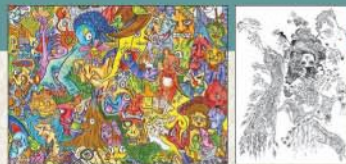
インフィエルノ・アスール

我輩とタッグを組んでいたルチャドール（プロレスラー）である。鬼のマスクをまとい、怪力無双のルード（悪役レスラー）としてリングで大暴れ!
 ……しかし、ここだけのヒ・ミ・ツ♡
 その正体は、園児たちに愛され、園児たちを愛する幼稚園の園長先生。リングで見せる迫力と、子どもたちに向ける優しい笑顔。その大きなギャップも、彼の魅力のひとつである。



宮本源内

1978年生まれ。福岡市に住む。厳しい修行の末、「揺れ線描 源内線真打」という幻術を体得。虚無より浮かび上がる怪異を、素早く封印する。この技は、精神磨耗が厳しいうえ酒好きが祟り病魔に襲われる。享年42歳。



鶴島朴同

広島県在住。三原市や尾道市を中心に習字・水墨画教室を開催。水墨画で描いた鬼や妖怪作品も多数。



エガネ・ノーバル

鹿児島で生まれ、イランで育つ。自身のアイデンティティを探し求める中で、日本のアニメーションと出会い、その魅力に惹かれる。現在はアニメーション会社に勤務している。イランに伝わる鬼や伝説をモチーフにした作品を制作。その作品が、この「鬼縁展」にて、日本の鬼の博物館で初上映される。



白杵ミワリクラブ

1999年に結成された、大分県臼杵市で妖怪や民話・伝説を地域のこども達に伝え、市内外の史跡を巡りながら妖怪町おこしを行う団体。こども向けナイトツアーや仮装コンテスト、民話や伝説の冊子化なども行う。



ミズ鬼ずム

2017年結成。日本全国の様々な鬼伝説を求め旅を続け、鬼の取材をしながらデジタルアートを中心に作品を描く。2022年には日本の鬼の交流博物館にて秋季特別展「21世紀魑魅魍魎展—増本大二郎とミズ鬼ずムの世界—」を開催。



豊妖組合

2014年設立。大分県の妖怪の普及や展示活動を行う団体。本特別展に参加の闇の中のジェイは著書『日本怪異妖怪事典 九州・沖縄』（笠間書院）の他多数の書籍や講演、イベントでの出版を行う。一夕斎ソラトは漫画家・イラストレーターとして活動。大分県の妖怪を紹介する「一村一怪おいた妖怪図鑑」を制作。



会場案内図



日本の鬼の交流博物館

〒620-0321 京都府福知山市大江町佛性寺909 TEL&FAX: 0773-56-1996

開館時間／ 午前9時～午後5時
 (入館は午後4時30分まで)

休館日／ 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日
 入館料／ 大人330円/高校生220円/小中学生160円
 ※団体割引あり

交通アクセス

- 京都縦貫道(舞鶴大江IC) 出て約35分
- 京都丹後鉄道(大江山口内宮駅) 下車、徒歩50分
- 京都丹後鉄道(大江駅) 下車、市バス若しくはタクシー(要予約)で約20分
- 地域送迎サービス「鬼タク」(土日祝のみ運行、要予約、有料) 予約ダイヤル: 0773-33-5533